



令和4年度44名でスタートです！



運動場の桜は、令和3年度卒業式の日から少しずつ花開き、満開の姿のまま美しい姿で新入生5名を迎えてくれました。朝晩の気温の低下が原因かどうかわかりませんが、桜を長く見続けることができたのは幸運でした。着任式・始業式・入学式・離任式と新学期初めの行事を無事に終えることができました。

どの教室でも、子どもたちからは進級した意気込みと緊張感が少し感じられています。今年度からスタートした3・4年生の複式学級の教室には、12名の児童がいます。作業中、3年生のお手本となろうとする4年生児童がいたり、人数が増えたことに喜んでいる児童がいたりしました。全校児童44名。昨年度に比べ減りましたが、発信力をもち、当たり前前の事が当たり前前にできる子ども達に育ってほしいと思います。

まだまだ新型コロナウイルス感染症拡大傾向が続きます。免疫力を高めるためにも、保護者の皆様は、お子さんを早めに寝かせていただき、朝ごはんをしっかり食べさせてください。そして「行ってらっしゃい。」と元気よく送り出してください。そうすることで、子どもたちも元気になります。

一年間どうぞご協力よろしくお願いします。



<式終了後 教室へ>



<1年生の学習の様子>

井原市の今年度からの感染防止策の取組の一つとして、シルバー人材センターから2名の方が学校内の消毒に来ていただけるようになりました。

教職員が今までしていたドアノブやトイレ、手すり等消毒作業をしていただきます。4日に1回程度ですが、助かります。

県主小は、今年度も「なりたい自分になる」をめざします

県主小学校では、「なりたい自分」をイメージして昨年度まで、運動会や学芸会などの行事や学習、色々な活動に取り組んできました。

アメリカ大リーグで活躍している大谷翔平選手も、高校生の頃から目標達成シートを活用し、具体的な目標を定めて努力してきました。

昨年度、保護者や地域の方々から「発信力が伸びた」という声を頂きました。しかし、日頃の生活を振り返ってみると、①日記やお礼の手紙に学習した漢字が使えない②自分の意見をわかりやすく書くことに苦手な児童がいる、という気になる点が浮かび上がりました。

今年度は従来の発信力に加え、①②を意識しながら「書く力」を伸ばしていきたいと考えています。